

好きな場所で
暮らす、働く、成長する

できるよ。



BOOK



SCSK

SCSKニアシオシステムズ株式会社

自分の好きな街で「暮らす、働く、成長する」を 応援する会社です。

慣れ親しんだ街で家族や大切な人と暮らしたい。

大きな仕事を通じて社会に貢献したい。

一人ひとり、大切にしたいことが違うように、

しあわせな社会人生活をかなえる要素は、一つではありません。

私たちは、オンとオフを両立させる「ワーク・ライフ・バランス」から一歩進んで、

社員がしあわせに働いて生活できる「ワーク・ライフ・ハピネス」に、

会社全体として取り組んでいます。

「自分らしく暮らす、働く、成長する」を応援し、

社員一人ひとりが、地元で一流の仕事ができる誇りを持って

「ここでずっと働きたい」と思ってもらえる会社を目指しています。

そして、新しく当社に迎えるみなさんにも、

そんな誇りとしあわせな気持ちを胸に、

いきいきと働き続けて欲しいと願っています。

社会も、地域も、自分も、いきいきとしあわせに。



わたしたちの会社について

地元で首都圏の大規模な仕事ができる 住友商事グループの「中核IT企業」SCSKグループ企業

当社は、SCSKグループの一員として、地方拠点にて大都市圏のお客様のシステム開発業務に携わっています。社員は転勤もなく、大都市圏への出張もほとんどありません。自分の地元で、大切な人の近くで、落ち着いて社会に役立つ大きなものづくりが出来ます。場所に縛られずリモート（遠隔）で開発を行う当社へのニーズは増大し、5年連続で増収（2020年度現在）。地方のIT産業の発展に貢献しながら成長を続けています。

会社概要

●社名	SCSKニアショアシステムズ株式会社	●事業内容	システム開発・アプリ保守・運用・改善提案
●設立	2001年5月15日	●本社	東京都江東区豊洲
●資本金	1億円（SCSK株式会社100%出資）	●事業所	11県12拠点（秋田・岩手・石川・福井・横浜・大分・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄/浦添、南風原）
●社員数	421名（2022年1月1日現在）		

わたしたちが目指していること

地方のIT産業の発展と働き方に貢献 社員がいきいきと働くしあわせが、地域の発展につながる

「社員のために 地域のために お客様のために」をミッションに掲げる当社は、地方で、「日本一のサービス品質」を提供するIT企業として、開発拠点のある地元を中心に人材を採用し、地域の雇用創出や優れたIT人材の育成を行うことで地域とともに発展することを目指しています。

当社の取り組みは地域からも認められています

地方自治体認証

秋田:「秋田市元気な子どものまちづくり企業」認定 / 岩手:「いわて働き方改革AWARD」参加企業 / 石川:「いしかわ健康経営宣言企業」 / 宮崎:「仕事と家庭両立応援宣言企業」 働きやすい職場「ひなたの極み」認証制度 「未来みやざき子育て表彰」知事表彰 / 鹿児島:「かごしま子育て応援企業」 「鹿児島県女性活躍推進宣言企業」 / 沖縄:「沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業認証制度」

事業拠点開設報告（沖縄）
※地域の雇用創出・UIJターン促進に貢献



未来を担うこどもたちの「共に創る力」を育む社会貢献活動
CAMPワークショップ



地元で先端の仕事ができるしあわせ



秋田開発センター
二田さん

私が担当しているのは、アパレル企業のECサイトのパッケージ開発。新型コロナウイルスの影響を受けるアパレル業界や、そこで働く多くの方々の役に立つシステムに、地元秋田で関われるやりがいを感じています。



沖縄・浦添開発センター
松川さん

携帯電話やスマートフォンに欠かせない、通信サービスを迅速に提供するお客様のフロントサービスのシステム開発を行っています。全国各地の人々の楽しく便利な生活を沖縄から私たちが支えています！

私が担当しているのは、輸出、輸入に関わる為替、外国送金、外貨両替などに必要な「外為業務全般をカバーする総合勘定システム」。自分の仕事が海外でも役立つことをイメージするとわくわくします。



宮崎開発センター
堀部さん

チームリーダーとして、全国のドラッグストアで使用される在庫管理システムの開発・保守に取り組んでいます。難しい課題をみんなで解決したシステムが全国で稼働する、そんな大きな仕事が地元でできます。



石川開発センター
杉本さん

ずっと成長し続けられるしあわせ



横浜開発センター
小川さん

全国に食品を届ける食品製造工場の物品購入管理システムに関するプロジェクトリーダーを担当。自社メンバーやSCSK、協力会社など色々な人と知識やアイデアを交わす中で日々成長を感じています。

半年に1度の業績目標設定で業務知識と技術知識向上をテーマに掲げて新しいプログラム言語や業務知識を学んでいます。学び続ければ手に職が付くエンジニア職で、大好きな岩手でずっと働きたい。



岩手開発センター
奥友さん



熊本開発センター
八尾さん

文系からSE職に挑戦。首都圏の大手企業の経理システムの開発をしたり、大手自動車メーカーの自動運転に関するソフトウェアの開発に携わっています。目標は、熊本で自分にしかできない仕事を実現することです！

エンジニアとしてのスタート

2020年4月

4月～7月

8月～12月

12月

入社

新人研修

拠点配属・OJT研修

プロジェクト配属・OJT研修



鹿児島開発センター
南さんの場合

入社1年目で最先端の開発を担うSEへ

新人研修を経て配属となったのは、交通事故を未然に防止するための先進運転支援システムの開発プロジェクト。プログラムの作成やテスト仕様書の作成、テストの実施に関わっています。プログラムで苦勞することもあります。周りの先輩に質問しながら少しずつアルゴリズムを考えられるようになり、日々成長を感じます。目指すのは仕事もプライベートも充実させるSEです！

ずっと成長できる年表

- 2005 ● 債権債務システム開発 開発メンバー
- 2008 ● 保険職員管理システム開発 サブリーダー
- 2010 ● 生命保険システム開発 サブリーダー
- 2011 ● 車両管理システム開発 プロジェクトリーダー
- 2012 ● 会計システム開発 プロジェクトリーダー
- 2013 ● 損害システム開発 プロジェクトリーダー

- 2015 ● マイナンバーシステム開発 プロジェクトリーダー
- 2016 ● 損害システム開発 プロジェクトリーダー
- 2017 ● 損害システム開発 プロジェクトマネージャー
- 2018 ● 損害システム開発 課長
- 2019 ● 損害システム開発・保守、社内開発 課長
- 2021 ● 福井開発部 副部長



福井開発センター
山崎さんの場合

社会の重要なシステムに関わりながらキャリアアップ


私は金融システムを軸に、メンバーのときは技術を学び、プロジェクトリーダーでマネジメント力を身に付け、複数のプロジェクトをまとめる課長、そして副部長へキャリアアップしてきました。当社のSEは、何事にも疑問を持つ姿勢と解決する手段を考える姿勢が重要であり、先端技術やマネジメント力を磨きながらいつまでも成長できるので、楽しくて刺激のある仕事です。

ワーク・ライフ・ハピネス

ライフ

仕事も生活も楽しめるしあわせ

🕒 1日のSchedule



沖縄・浦添開発センター
松川さんの場合

当社のここがしあわせ

有給休暇の他に、子どもの看護休暇や育児支援休暇、時間単位の有給などを上手く活用して仕事とプライベートが両立できます。実家も近いので土日は、祖父母・姉家族合同でプチ旅行をしたり、キャンピングカーをレンタルしてバーベキューやサイクリングを子どもたちと楽しんでいます。


7:50	保育園・出勤 子どもを保育園に預けた後、駅近くの駐車場に車を停めてモノレールで通勤	16:00	チーム内のタタミーティング チーム全体の進捗共有会
8:40		16:30	
9:00	出社 プロジェクトのメールチェック プロジェクト全体&チーム内の朝ミーティング チーム全体 / 配下メンバーの状況把握と、1日の作業内容の整理・認識共有		退社 ※時短勤務利用 保育園に子どものお迎え 曜日によって子どもの習い事までお迎えをする
9:40		17:40	
	システム開発(単体テスト設計) メンバーへの業務の割り振り、問い合わせ対応、テスト設計書の作成依頼とレビュー(評価)、要件書 / 課題の改版確認とテスト設計への取込み依頼、レビュー(評価)を行う	18:00	帰宅・夕食準備 夕食の準備をしながら洗濯物を取り込む 子どもに明日の準備をさせたり、宿題の確認
12:00		19:00	
	昼食 メンバーと外食したり、社内でお弁当		夕食・入浴・夕食片付け・明日の準備 子どもが21時には就寝できるようになるべく終わらせる
13:00		21:00	
	システム開発(単体テスト設計) 午前中に引き続き、システム開発を行う		就寝(子ども)・片付け 子どもの寝かしつけ、残った家事片付け
15:00		21:30	
	進捗報告 WBS(作業分解構成図)ツールで進捗を管理、1日の作業内容の報告と残業有無の確認 / 申請を行う		残った家事・リラックスタイム 録画して溜めていたドラマを見ながら洗濯物を畳む パートナーとお酒を楽しむ
15:15		22:30	
	メンバーの進捗把握 次のタスク(課題)の作業指示と成果物のレビュー(評価)を行う		
16:00			

ワーク・ライフ・ハピネス

ライフ

自分の時間を大切にできるしあわせ

📅 1週間のSchedule



宮崎開発センター
堀部さんの場合

当社のここがしあわせ

残業が少なく、平日の夜もゆっくり自分の時間を取れるのが嬉しいです。休日もカレンダー通りの勤務なので、旅行の計画も立てやすく自分の時間を楽しめます。普段の休みの日は、自家焙煎しているカフェに行ってマスターと会話をしたり、幼少期からジャズ・R&B・ソウル・ファンクといったブラックミュージックが好きなので音楽を聴いたり、ギターを弾いたりしています。

	平日のオンタイム(仕事)	平日と休日のオフタイム(プライベート)
月	● 個人の担当業務とプロジェクトの朝会・夕会 ※朝会・夕会では、主に各担当者のタスクの進捗状況の報告やプロジェクトに関連する情報の共有を行う	● 朝と夜に自分と家族の分の珈琲を淹れることが日課 ● 寝る前に軽く筋トレと体幹トレーニングを行い、リフレッシュと体調管理を心がけている
火	● 個人の担当業務を行う ● 国際金融プロジェクトに参画しているメンバーに対して実施しているエンジニア力向上の為の勉強会に関する定例ミーティング	● 朝 / 夜の珈琲と寝る前の筋トレと体幹トレーニング ※通勤時間は好きな音楽を聞いたり、動画配信サービスで映画を楽しんでリラックス
水	● 年度末のため、来年度の方針を作成し、半期に一度プロジェクトマネージャー / リーダーに実績を報告	● 朝と夜に自分と家族の分の珈琲を淹れることと、寝る前の筋トレと体幹トレーニングを欠かさず行う
木	● 個人の担当業務とプロジェクトの朝会・夕会 ※ランチは同じプロジェクトで仕事をしてきた仲良しのメンバー(3~4人)と外食を楽しんでリフレッシュ。午後の仕事の活力に	● 平日はなるべく定時にキリ良く終われるように作業を進めている。17:40ごろには退社できるので自分の時間や友達と食事を楽しめる
金	● 個人の担当業務を行う ● 現在所属しているプロジェクトの朝会・夕会	● 朝 / 夜の珈琲と寝る前の筋トレと体幹トレーニング ● 週末なので音楽友達と飲みながらのWEB映画観賞会を楽しんで盛り上がる
土	休日	● 週末も欠かさず朝 / 夜に自分と家族の分の珈琲を淹れる 土曜日なのでいつも通っているカフェに珈琲豆を買いに行く
日	休日	● 朝 / 夜に自分と家族の分の珈琲を淹れる ● 映画をみたり、音楽を聴いたり、ギターを弾いたり、ゆっくり自分の好きな時間を過ごしてリフレッシュ

📅 わたしのしあわせ時間

秋田開発センター二田さんの場合	休みに手の込んだ料理を作ること、友人と通話をしながらゲームをすること、のんびりYouTubeを見ることがしあわせ。残業が少ないので平日も自炊や趣味を楽しんでいます。	横浜開発センター小川さんの場合	料理を食べることで作る時間がしあわせ。定時に退社して、スーパーで買い物をして、料理をして、パートナーと楽しく会話(たまには愚痴も)しながら食事をする時間が楽しいです。	石川開発センター杉本さんの場合	休日に好きなお茶やコーヒー、お酒を飲みながら映画鑑賞や読書をして、のんびりと過ごす時間がしあわせ。平日も基本的に残業はなく、通勤は徒歩15分とゆったり働けます。
-----------------	--	-----------------	---	-----------------	--

人生で大切にしていること

小さな頃から暮らしてきた場所、風景、家族、友人、メンバーの成長や地域の活性化…

一人ひとりが好きなことを大切にしながら、20代のいまも、30代、40代、50代の未来も自分らしくいきいきと暮らす、働く、成長できる。それがSCSKニアショアシステムズのハピネスです。

大切なものを
真ん中にして働こう



20代

星と森の見える風景と家族との時間が、
私の大切なもの

20代 岩手開発センター 碁石さん

実家が自然豊かで、川や動物や森がいつも身近にありました。そのため、自然のある環境の中だと気持ちが落ち着きます。人混みが苦手な、満員電車や人口密度の高い建物ではクラクラしてしまうのですが、当社は通勤も徒歩で済みますし、交通機関がそれほど混むこともない岩手の環境が自分のペースに合っていると感じています。地元なので実家が近く、すぐに家族に会いに行けるのも嬉しいです。実家は賑やかでワイワイしているので、たまに帰って楽しい時間を過ごすことでリフレッシュできます。大切な家族に何かあったときにもすぐに向かえるという点でも安心です。



30代

親、家族、友人…
大切な人の近くでいきいきと働くこと

30代 熊本開発センター 村田さん

私は、キャリア(中途)で当社へ入社しました。新卒の就職活動ではとにかく地元熊本を出たくて、横浜の会社に就職。仕事は楽しかったのですが、都会の忙しいスピードで働くうちに地元へ戻りたい気持ちに。そんなときに父親の病気もあり、家族に何かあった時にすぐに駆け付けられないと思い、熊本に戻ることを決めました。地元に戻ってよかったことは、実家が近いこと。子どもの顔も親にすぐに見せられますし、小さなころから慣れ親しんだ場所で働く安心感があります。休日もしっかり休めるので、家族との時間を大切にしながら、いつか学生時代の友人たちとバンド活動を再開できたらいいなと思っています。



40代

メンバーも自分もしあわせに働いて、
地域に貢献すること

40代 沖縄・南風原開発センター 平良さん

地域に根差してともに成長することを目指す当社は、地域のIT業界活性化や雇用創出、エンジニアの育成などの面でも地方創生にも関わっており、そこに当社の存在意義と価値があると考えています。部長を務める身として、南風原開発センターのメンバー一人ひとりが、仕事とともに成長していく中で、年齢を重ね、結婚し、家族が増えて幸せに暮らす姿を見ると、責任の重さも感じますが同時に本当に嬉しく思います。私自身も、家族との時間を大切にし、夏場はシュノーケリングで沖縄のきれいな海に潜り、冬場はキャンプで子どもたちと料理を食べながらゆっくり過ごす時間になんとも言えない幸せを感じます。

